

第2期（R7） 第1回 地域・実践分科会

2025年10月16日

事務局

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

概要

□ 背景・課題

地域に潜在的に存在する社会・環境的又は人的資源を活用し、地域発で社会・環境課題に対応し、経済・社会基盤の強化を実現することへの期待は高く、実際に、足許で多様な地域企業によるインパクトの創出例が見られつつある。

一方、地域発の取組には多様な地域・事業者・資金提供者の特徴に応じた柔軟な資金調達、人材の確保・育成、ステークホルダー間の連携等が必要となる等、取組の実践は容易でない。

□ 目的

まずは多様な取組みの浸透・拡大を図るため、ケーススタディやフィールドワークでの議論を通じて、社会・環境課題への対応の視点を取り入れた地域における価値創造等の取組みが多岐にわたることの理解促進を図り、関心を喚起するような議論・発信を行い、地域におけるインパクト創出・投資に関する機運醸成やネットワーク構築の支援、それらを通じた地域への人材・資金の流れの強化といった地域における好循環の実現を目指す。

第2期座長・副座長・ディスカッションメンバー

メンバー

※敬称略・五十音順

- **座 長** 金融トラック：株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ プリンシパル 宜保 友理子
事業トラック：龍谷大学教授 深尾 昌峰
- **副座長** 金融トラック：株式会社日本政策投資銀行 経営企画部サステナビリティ経営室長 金谷 真吾
事業トラック：一般財団法人社会変革推進財団 常務理事 工藤 七子
- **ディスカッションメンバー** （10名）
 - ・ 京都信用金庫 石井 規雄
 - ・ 日本商工会議所 岡本 大輔
 - ・ 三井住友信託銀行株式会社 金井 司
 - ・ 株式会社UNERI 河合 将樹
 - ・ 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 小崎 亜依子
 - ・ 株式会社肥後銀行 坂口 尚
 - ・ 株式会社Zebras and Company 田淵 良敬
 - ・ 株式会社うむさんラボ 比屋根 隆
 - ・ UntroD Capital Japan株式会社 山家 創
 - ・ ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 渡辺 麗斗

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

第1期振り返り

事業トラック

第1回分科会

第2回分科会

- ・ 地域における最大の課題は「地域が存続できないかもしれないこと」。地域固有の課題をステークホルダーからの理解を得ながら解決していくことが必要
- ・ 経済的な価値に直結しない自然資本、地方が有する多様な価値の再評価・再発見が必要
- ・ 地域社会への貢献は企業価値向上・優秀な人材の確保やモチベーション創出につながる

議論を通じて、地域でインパクトを
意識する必要性の共通認識を醸成

- ・ 地域内外の多様な主体との連携強化
- ・ 柔軟な資金調達手法の活用
- ・ 人材の確保のための育成・呼び込みの仕組み作り

課題

- ・ 地域の中でネットワーク同士をつないでくれる触媒機能の存在がより重要
- ・ 社会課題の解決を目指す企業を支援する金融機関の行動変容が求められる

事例を通じて示唆を得られたが、
具体的実践には依然として課題

- ・ 地域における資金の出し手が採りうる手段(How)の深堀り
- ・ 地域における資金の出し手がインパクト創出に取り組むインセンティブを形成することにつながる議論

金融トラック

第3回分科会

第4回分科会

- ・ 地域金融機関にとって地域経済の健全性・持続可能性は自らの経営基盤と密接不可分
- ・ 地域におけるインパクトは、地域社会の質的豊かさの向上につながる
- ・ 社会課題は複雑であるため、インパクトを切り口に「点」でなく「線」「面」の視点で構造的にとらえ、各関係者が連携を強化することが重要

- ・ 従来型の融資に留まらない多角的なアプローチ
- ・ 産学官金連携による新規産業の創出と人と知恵の循環するエコシステムの形成

課題

- ・ インパクト志向でエクイティ活用を含む多様なソリューション提供を実務レベルで検討できる金融機関人材が不足
- ・ 地域金融機関においてインパクト創出への取り組みにばらつきがあり、インパクトに着目するインセンティブが十分に形成されていない

Why

- ▶ なぜ地域でインパクトを意識することが必要なのか

What/Howと課題

- ▶ 地域課題解決を事業成長・経営改革の機会とするには、何をどのようにすればいいか

第2期のテーマ

- ▶ インパクトを実現するための課題

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

第2期全体方針（概要）

第1期

成果・課題

- **成果**：地域でインパクトを意識する必要性（Why）の共通認識を醸成し、事例を通じて得られた示唆を発信。
地域内外の幅広い関係者間での共通理解を醸成し共感・協働を得る方法や、インパクトを事業成長・経営改革の機会とする視点、多様なファイナンス手法の活用等について一定の視座等を抽出し、議論やフィールドワークを通じて共有された地域における創意工夫やプレーヤーの取組み・想い等について、参考となるモデルケースを一般に分かりやすい形式で取りまとめ発信した。
- **課題**：具体的実践には地域における資金提供者の取り得る手段（HOW）を深堀りする必要があることを認識。

第2期

方針・活動・成果物（想定）

- **方針**：企業の成長段階に応じた多様な資金提供者の協働、多様なファイナンス手法の活用に係る議論にフォーカス
- **活動**：分科会4回、フィールドワーク1～2回
 - ①**分科会** 多様な地域発のインパクト事例を通じて金融の観点から議論を重ね、ファイナンス手法のポイント等を取りまとめる。
 - ②**フィールドワーク** 地域のインパクト・ビジネスの実態把握（生の声を聴く）により、成果物の充実を図る。

		第1回 分科会	第2回 分科会	第3回 分科会	第4回 分科会	フィールドワーク
テーマ		第2期キックオフ	事例を通じた議論 ① ・デットの活用 ・地域エコシステムの構築	事例を通じた議論 ② ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	第2期の総括	地域の実態把握
	アジェンダ（案）	○挨拶・紹介 ・座長・副座長・DM ○第2期方針の共有 ・年間計画 ・成果物イメージ ・多様なファイナンス手法の紹介・解説 ○意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り得るアプローチ ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・連携のポイントと各ステークホルダーの役割 ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換	○第2期分科会の総括 ・1～3回分科会、フィールドワークの振り返り ・得られた成果と課題 ○成果物に関する意見交換 ○第3期に向けた意見交換 ・方針、進め方、取り組みたい事項など	○企業ヒアリング・意見交換 ・地域の現状・課題 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り得るアプローチ ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素

- **成果物**：地域におけるインパクトファイナンス手法のポイント等を取りまとめ、多様な資金の出し手による参照・活用を促す。
 - ・地域におけるインパクト投資等において活用し得るファイナンス手法
 - ・地域金融機関等において取り得るアプローチ
 - ・イノベーション企業・ローカルゼブラ企業等を含む地域のインパクト企業をスケールアップさせる上で有用なファイナンス手法（官民ファンドや政策金融の活用を含む）

年間計画（案）

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4-6月

第1回アンケート・意見集約
第2回資料の事前確認依頼

第2回アンケート・意見集約
第3回資料の事前確認依頼

第3回アンケート・意見集約
FW参加者募集

FWアンケート・意見集約
第4回資料の事前確認依頼

第4回アンケート
成果物確認

	第1回（10/16）	第2回（11月下旬）	第3回（1月下旬）	フィールドワーク（1・2月）	第4回（3月上旬）
テーマ	第2期キックオフ	事例を通じた議論 ① ・デットの活用 ・地域エコシステムの構築	事例を通じた議論 ② ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	・デットの活用 ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	第2期の総括
主担当	全員 ・司会・資料：事務局 ・挨拶：座長・副座長 ・意見交換モデレーター 工藤副座長（仮）	金融トラック ・必須DM 三井住友信託銀行、 JANPIA、肥後銀行、 京都信用金庫	事業トラック ・必須DM 商工会議所、UNERI、 Zebras and Company、 UntroD、うむさんラボ ベータ・ベンチャーキャピタル	全員	全員 ・総括・進行：金融トラック
アジェンダ	○キックオフ ・挨拶・紹介 （座長・副座長・DM） ・第1期振り返り ○第2期方針の共有 ・年間計画 ・成果物イメージ ・多様なファイナンス手法 の紹介 ・意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・全体構成 ・選定事例	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・活用方法（マップ） ・事例紹介方法	○企業ヒアリング・意見交換 ・地域の課題・現状 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素	○第2期分科会の総括 ・1～3回分科会、フィールド ワークの振り返り ・得られた成果と課題 ○成果物に関する意見交換 ○第3期に向けた意見交換 ・方針、進め方、取り組みた い事項など
目的（着地）	・第2期メンバー顔合わせ ・第2期方針の確認 ・年間計画の方向性決定 ・多様なファイナンス手法に 関する認識のすり合わせ	・事例検討を通じた多様な ファイナンス手法の洗い出しと 横展開の可能性検討 ・成果物構成案のブラッシュ アップ	・事例検討を通じた多様なファ イナンス手法の洗い出しと横 展開の可能性検討 ・成果物内容のブラッシュアップ	・企業ヒアリングを通じた多様な 事例の把握と横展開の可能 性検討 ・インパクトコンソーシアムの取 組周知によるすそ野拡大	・第2期分科会の議論を通じ て得られた成果と課題の整 理 ・成果物素案の確認 ・第3期の方向性の検討

成果物の作成・確認・完成

成果物イメージ

1. はじめに

- (1) 事例集の目的とポイント
- (2) 作成の背景（分科会での活動）

2. 活用方法

- 事例の全体像（マッピング複数）
- 事例集の活用の仕方（調べ方）

3. 事例紹介

- 環境（気候変動・環境保全・生物多様性）
- 健康・医療
- インフラ整備・都市開発
- 教育・子育て
- 食料・農業
- 人材・働き方
- その他

4. フィールドワーク調査報告

5. 事例全体の総括

- 成功要素
- 課題要素

6. おわりに

7. Appendix

- インパクト投資におけるファイナンス手法の整理
- 事例一覧

インパクト投資の基本的要素に関連する事例を幅広く収集して資金の出し手、資金の受け手ともに参考となる事例集を作成します

事例調査および整理の観点

【全国のインパクト投資（ファイナンス含む）事例の収集・一覧化】

インパクト投資の基本的要素を踏まえもしくは特徴を有することが想定される事例を幅広く調査対象とした。

- 注力先として最新情報を把握する観点からニッキンONLINEの記事、その時点での好事例として取り上げられてる全銀協や地銀協等の協会や日銀が公開しているレポート等を対象
- 上記の情報源から「インパクト」や「ESG投資」等で検索し過去数年分の記事、レポートを幅広く収集
- 各事例を確認し、インパクト対象（目的）やファイナンス手法等を類型化したうえで一覧を作成
- 全体をマッピングおよび事例毎にスキーム図、ポイント、事例を参考とする際の留意点等の解説を記載

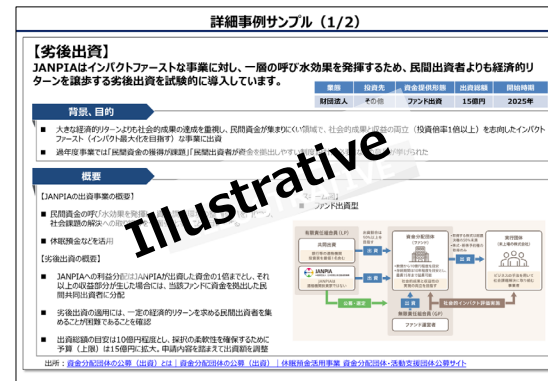


出所:地銀協レポート

一覧イメージ

No.	資金の出し手	資金の受け手	対象事業	企業/産業/地域	投資/ファイナンス手法	ユースケース/課題
10	株式会社	NPO等	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
11	千葉銀行	金	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
12	筑波銀行	茨城県及び市町村	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
13	筑波銀行	DHO	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
14	東京都市	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
15	東京都市	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
16	南都銀行	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉
17	南都銀行	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉	社会福祉

事例毎の解説イメージ



成果物作成にむけて

事例マップ① 社会課題×ファイナンス手法

凡例 シード アーリー ミドル レイター その他・すべて

	デット				エクイティ			助成金	その他
	融資	成果連動融資	債券	その他	直接出資	ファンド出資	その他		
環境 (気候変動・環境保全 ・生物多様性)	3 31 5 32 6 33 18 40 22 41	7 20 21 34 38	14 25 26		19 49	2 39 52 55 62 63		50	37
健康・医療			42 65		45				
インフラ整備・都市開発	4 67 12 81 66				13 47 57	36 43 78		35	
教育・子育て			64			75			
食料・農業	17 79					48			
人材・働き方	1 68 8 69 9 76 15 77 28 80					16 54 30 73 46 74			29 70 44 71 53 72 58
その他	23				60	56 61		10 11	24 51 27 59

成果物作成にむけて

事例マップ② 社会課題×企業の成長段階

※企業の成長段階は資金の受け手として整理

凡例 デット エクイティ 助成金 その他

	シード 創業準備を行う初期段階	アーリー 試験的な市場投入やビジネス モデルの検証を行う段階	ミドル 本格的な事業拡大に着手し、 成長を加速させる段階	レイター 事業基盤が確立、安定的売 上や利益を確保する段階	その他 (自治体、NPO等)	全て (成長段階の制限なし)
環境 (気候変動・環境保全 ・生物多様性)	33 37	7 13 19 55 62	31 3 40 49 52	2 38 5 39 32 41 34	6 50	14 22 18 25 20 26 21 54 63
健康・医療			65	45	42	
インフラ整備・都市開発	30	43	57	66 67 78	4 12 47	36 35 81
教育・子育て			64			
食料・農業		17 75 79	48			
人材・働き方	73 71 72	9 15 16 28	29 53 58	68 74	8	1 70 44 76 46 77 69 80
その他	59 11	51	56		27 60	10 61 23 24

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

前提の確認：地域でのインパクトファイナンスに関する課題感

なぜ(Why)インパクトが有用か

→ 意義の理解そのものはクリアしやすい

- 地域経済の持続を目的として、リスク勘案の上で、地域にポジティブな影響をもたらす意図を持ってファイナンスを意義を理解
- インパクトというレンズを通じて、多様な価値を再評価・再発見し、行動変容

自治体

資金の
出し手

中間
支援組織

事業
会社

住民

地場
大手企業

- 地域における課題解決の価値を、インパクトの考え方を通じて説得力ある方法で資金の出し手を含むステークホルダーに共有できる

実践(How)における課題

→ 実践面では、様々な組み合わせが存在することを理解してアプローチする必要がある

資金の出し手

銀行

信用金庫

VC

PEファンド

国

自治体

事業会社 (CVC)

etc.

- 実際の資金の出し手は、各機関毎に固有のリスク許容度とファイナンス手法を保有しており、**一機関であらゆるファイナンスに対応することは不可能**
- VCは首都圏に集中しており、事業者の目指す規模の目線が投資スコープに合わない等の理由で都市部以上に**リスクマネーの供給が限定的**
- 地域企業に単に資金を供給するだけでなく、**経営支援とより効果的なエンゲージメントのノウハウ**を持って初めて地域課題の解決にまで到達する

事業会社

A企業

B企業

C企業

D企業

etc.

- 経験に基づくそれなりの理屈があってもまだ非常にリスクが高いフェーズの企業において、デットによる調達の壁を超えられない
- 企業によって状況が異なる中で、自社が誰から・どのようなファイナンスを受けるのが適切であるかを判別できない

■ 第2期成果物（事例集）の意義について

資金の出し手が活用しやすい事例集を作るため、以下についてご意見いただきたい

- 資金の出し手目線から見た、地域におけるインパクトファイナンス実践の課題や問題点は何か
- それを踏まえて第2期成果物（事例集）は、問題解決のためにどのように役立てられるか

■ その他ご提言

- 特に注目し、詳細を調査すべきファイナンス手法・事例等はあるか etc.

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4-6月

第1回アンケート・意見集約
第2回資料の事前確認依頼

第2回アンケート・意見集約
第3回資料の事前確認依頼

第3回アンケート・意見集約
FW参加者募集

FWアンケート・意見集約
第4回資料の事前確認依頼

第4回アンケート
成果物確認

	第1回（10/16）	第2回（11月下旬）	第3回（1月下旬）	フィールドワーク（1・2月）	第4回（3月上旬）
テーマ	第2期キックオフ	事例を通じた議論 ① ・デットの活用 ・地域エコシステムの構築	事例を通じた議論 ② ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	・デットの活用 ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	第2期の総括
主担当	全員 ・司会・資料：事務局 ・挨拶：座長・副座長 ・意見交換モデレーター 工藤副座長（仮）	金融トラック ・必須DM 三井住友信託銀行、 JANPIA、肥後銀行、 京都信用金庫	事業トラック ・必須DM 商工会議所、UNERI、 Zebras and Company、 UntroD、うむさんラボ ベータ・ベンチャーキャピタル	全員	全員 ・総括・進行：金融トラック
アジェンダ	○キックオフ ・挨拶・紹介 （座長・副座長・DM） ・第1期振り返り ○第2期方針の共有 ・年間計画 ・成果物イメージ ・多様なファイナンス手法 の紹介 ・意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・全体構成 ・選定事例	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・活用方法（マップ） ・事例紹介方法	○企業ヒアリング・意見交換 ・地域の課題・現状 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素	○第2期分科会の総括 ・1～3回分科会、フィールド ワークの振り返り ・得られた成果と課題 ○成果物に関する意見交換 ○第3期に向けた意見交換 ・方針、進め方、取り組みた い事項など
目的（着地）	・第2期メンバー顔合わせ ・第2期方針の確認 ・年間計画の方向性決定 ・多様なファイナンス手法に 関する認識のすり合わせ	・事例検討を通じた多様な ファイナンス手法の洗い出しと 横展開の可能性検討 ・成果物構成案のブラッシュ アップ	・事例検討を通じた多様なファ イナンス手法の洗い出しと横 展開の可能性検討 ・成果物内容のブラッシュアップ	・企業ヒアリングを通じた多様な 事例の把握と横展開の可能 性検討 ・インパクトコンソーシアムの取 組周知によるすそ野拡大	・第2期分科会の議論を通じ て得られた成果と課題の整 理 ・成果物素案の確認 ・第3期の方向性の検討

成果物の作成・確認・完成

1. はじめに

- 第2期座長・副座長挨拶
- ディスカッションメンバー紹介

2. 第1期振り返り

3. 第2期地域・実践分科会の方針

- 第2期全体方針（概要）
- 年間計画（案）
- 成果物作成にむけて
- 【別冊】インパクト投資における多様なファイナンス手法の紹介

4. 第2期地域・実践分科会の方針に関する意見交換

5. 次回以降の開催について

Appendix

- インパクトファイナンスの事例一覧
- 詳細事例サンプル

Appendix①：インパクトファイナンスの事例一覧

- 本事例一覧は、第2期分科会の実施にあたり参考となる多様なインパクトファイナンスの事例を調査時点の一般公開情報をもとに収集したものです。
- 本事例一覧の内容は、第1回分科会開催までに収集した内容を簡易的にまとめたものであり、網羅的な完成版資料ではありません。
- 本事例一覧の作成にあたっては、各事例の当事者に対し直接の確認は行っておりません。そのため、内容の正確性・最新性・網羅性については保証いたしかねます。
- ご利用にあたっては、参考情報としてご活用いただき、必要に応じてご自身で追加の確認をお願いいたします。本事例集の利用により生じた如何なる損害についても、当方は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

インパクトファイナンスの事例一覧（1/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
1	伊予銀行	認証取引先	人材・働き方	すべて	融資/シニアローン	いよぎんひめボス宣言事業所ローン 愛媛県が推奨する「ひめボス宣言事業所認証制度」取得企業を対象に、事業所内保育施設設置や女性更衣室の整備等、女性が働きやすい職場づくりのための設備資金を融資（ URL ）
2	京都銀行	Symbiobe株式会社	環境	レイター	ファンド出資/インパクトファンド	「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」での投資について 光合成生物である海洋性紅色光合成細菌の特性を生かし、温室効果ガスを回収・利活用するためのプラットフォーム構築に取り組む、京大発ベンチャー企業「Symbiobe株式会社」に投資（ URL ）
3	熊本県の複数 地域金融機関	わいた第2地熱 発電株式会社	環境	ミドル	融資/プロジェクト ファイナンス	わいた第2地熱発電株式会社の地熱発電プロジェクトへのファイナンス実行 あおぞら銀行のリードアレンジャーの元、熊本銀行、肥後銀行、脱炭素支援機構等が共同でわいた第2地熱発電株式会社の地熱発電所にプロジェクトファイナンスを実行（ URL ）
4	熊本市と県内 複数金融機関	中心市街地の 老朽化施設所有者	インフラ整備・ 都市開発	その他 （自治体）	融資/マイクロファイ ナンス	熊本市「まちなか再生プロジェクト」 熊本市および株式会社熊本銀行、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫による中心市街地の老朽化施設の建替促進プラットフォーム創設（ URL ）
5	佐賀銀行と佐 賀県内複数の 協同組合	玄海バイオガス 発電株式会社	環境	レイター	融資/シニアローン	玄海バイオガス発電株式会社に対するシンジケートローンの組成 GHG削減、家畜排せつ物処理に係る労力削減、臭気軽減等の社会課題の解決を目指し、バイオガス発電所の建設と売電を行うプロジェクトに、佐賀県信用農業協同組合連合会と唐津農業協同組合参加の元、シンジケートローンを組成（ URL ）
6	滋賀銀行	守山市	環境	その他 （自治体）	融資/シニアローン	守山市にグリーンローンを実行 最先端の技術でごみ焼却時の熱エネルギーを活用して発電する「サマルリサイクル」を行う新環境センターの建設費調達のため、滋賀県守山市に対しグリーンローンを実行。地方公共団体におけるグリーンローンの利用は国内初（ URL ）
7	荘内銀行	株式会社 POWER E NEXT	環境	アーリー	成果連動型融資/ サステナビリティ・リ ンク・ローン	小水力発電事業向け「荘銀グリーンローン」の契約締結 環境改善効果が見込めるグリーンプロジェクトのみを対象とする「荘銀グリーンローン」を通じて、株式会社POWER E NEXTが建設・運営する水沢川小水力発電事業に融資。借入人のSPTs達成への動機付けとして、達成時には契約内容に基づき金利を引き下げるインセンティブ設計（ URL ）
8	西武信用金庫	NPO団体等	人材・働き方	その他 （NPO）	融資/マイクロファイ ナンス	西武コミュニティローン 地域密着型、社会的課題の解決を目的とする事業を営むNPO団体等を対象とした融資商品（ URL ）
9	西武信用金庫	課題解決に向 けたビジネスに 取り組む事業 者	人材・働き方	アーリー	融資/シニアローン	地域・社会課題解決ビジネス応援融資 SDGsやサステナブル、福祉や子育てなどの課題解決に向けたコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスに取り組む事業者を支援する。また、融資実行後の支援も行う（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（2/10）

事例リストとその概要

No.	資金の出し手	資金の受け手	対象事業	企業の成長段階	分類/ファイナンス手法	ユースケース・概要
10	西武信用金庫	NPO等	全て	すべて	助成金	地域みらい助成金 定期預金の初回満期の利息の一部（顧客からの寄付金）と西武信用金庫からの拠出金を原資として、子育てや福祉、環境等、地域に資する活動に従事するNPO等に寄付する制度（ URL ）
11	千葉銀行	—	全て	シード・アーリー・非営利団体など	助成金	社会貢献活動 社会福祉・環境・産業支援・地域貢献などの社会貢献活動を実施（ URL ）
12	筑波銀行	被災者及びその家族	インフラ整備・都市開発	その他（被災者および被災者家族）	融資/マイクロファイナンス	SDGs推進プロジェクト「あゆみ」東日本大震災被災者へ資金を提供 SDGs推進プロジェクト「あゆみ」の一環として、東日本大震災被害者へ資金を提供。被災した法人には復興支援ローン、被災した個人や親族には住宅ローンを提供（ URL ）
13	筑波銀行	DMO	インフラ整備・都市開発	アーリー	直接出資/自己勘定投資	SDGs推進プロジェクト「あゆみ」地域活性化DMO推進事業への協力 SDGs推進プロジェクト「あゆみ」の一環として、かすみがうら市と連携し地域活性化DMO（Destination Management Organization）推進事業に協力（ URL ）
14	東京都	適格性に関する評価を受けて選定された事業者	環境	すべて	債券/グリーンボンド/ソーシャルボンド/サステナビリティボンド	東京グリーンボンド 東京都が都有施設への太陽光発電の導入、講演の整備、海岸保全施設の整備などに資金を充当するグリーンボンド。環境効果と充当額をレポートにて公開（ URL ）
15	東邦銀行	創業期・第二創業期企業	人材・働き方	アーリー	融資/シニアローン	とうほう・ふるさと総活躍応援ローン 創業期・第二創業期企業の支援のための融資商品。若手・女性・シニア層によるベンチャー型事業者や環境活性化、医療・ロボット・再生可能エネルギー、航空宇宙産業等の事業者、「子育て支援」や「介護と両立できる環境整備」等に取り組む事業者が対象（ URL ）
16	南都銀行	アーリーステージの企業中心	人材・働き方	アーリー	ファンド出資/インパクトファンド	やまと社会インパクト投資事業有限責任組合 奈良県及び周辺地域における社会課題を解決する「実践者への投資」と「実践者の育成」をコンセプトに経済リターンを生み出すことを目的とした地域課題解決型の社会インパクトファンド（ URL ）
17	南都銀行	株式会社パンドラファームグループ	食料・農業	アーリー	融資/ポジティブ・インパクト・ファイナンス	農業事業者とのポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結 株式会社パンドラファームグループとのPIF契約締結。テーマに応じたKPIを設定し、定期的に達成状況や管理状況を確認の上、対話を実施することでサステナビリティ経営をサポート（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（3/10）

事例リストとその概要

No.	資金の出し手	資金の受け手	対象事業	企業の成長段階	分類/ファイナンス手法	ユースケース・概要
18	西日本シティ銀行	脱炭素経営に取り組んでいる、または取り組もうとしている法人	環境	すべて	融資/シニアローン	脱炭素インパクトファイナンス「フォレストライク」 丸紅株式会社とe-dash株式会社と連携し、GHG排出量の可視化、KPI設計支援・達成支援、自発的なカーボン・オフセットが付いた脱炭素アクションオールインワンパッケージの融資商を開発品（ URL ）
19	フィデアホールディングス	フィデアエナジー株式会社	環境	アーリー	直接出資/自己勘定投資	フィデアエナジー株式会社の設立 100%出資の子会社を設立し、秋田県内で再生可能エネルギーの地産地消に取り組むことを主な目的とした電力小売事業を開始（ URL ）
20	福井銀行	法人のみの記載	環境	すべて	成果連動融資/ESGスコア連動型融資	サステナ応援ローン ESG総合スコアおよび温室効果ガスの総排出量に関する取り組み状況に応じて、金利を優遇する「サステナ応援ローン」の取り扱いを開始（ URL ）
21	ふくおかFG	※グループ各行所定の審査に準拠	環境	すべて	成果連動型融資/サステナビリティ・リンク・ローン	SX支援 「サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）」の実現に向けた取り組みを推進し、地域社会・企業のESG/SDGsに対する取り組みを定量的に評価し、見える化を実施。さまざまな分野の知見を有する専門家と連携し、「SX」に向けたアドバイス・ノウハウを提供。SPTの達成状況に応じて、金利等の経済条件を変動させる（ URL ）
22	北都銀行	株式会社REPOエナジー東北	環境	アーリー	融資/シニアローン	風力発電所のリノベーション事業向けファイナンスの組成 2019年から稼働停止を余儀なくされていた株式会社REPOエナジー東北の風力発電所をリノベーションのための「 ほくとグリーンローン 」を締結。豊かな風資源を活用した長期電源として維持し、脱炭素社会の構築に貢献（ URL ）
23	北洋銀行	北海道の企業	全て	すべて	融資/ポジティブ・インパクト・ファイナンス	ポジティブインパクトファイナンス 主に北海道の企業に対し、PIFを提供。各種原則等への適合性について、外部評価機関からのレビューを取得（ URL ）
24	北洋銀行	PIFおよび債券利用者	全て	すべて	その他	ほくようサステナビリティ定期預金 顧客が預け入れを通じて、地域の環境問題や社会課題の解決につながる取り組みへ貢献することが可能。充当先はが外部機関から国際原則等に関する評価等を取得しているグリーンローン、ソーシャルローン、サステナビリティローンなど（ URL ）
25	北洋銀行	認定取組企業	環境	すべて	債券/グリーンボンド/ソーシャルボンド/サステナビリティボンド	環境配慮型企業向け私募債「SDGs（エス・ディ・エス） 私募債」 環境に配慮した取り組みを自主的・積極的に行っている企業に対して有利な私募債を発行し、環境配慮型企業をサポート。北海道グリーンビズ認定制度等の登録企業が主な対象（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（4/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
26	北洋銀行	北海道環境財団	環境	すべて	債券/グリーンボンド/ソーシャルボンド/サステナビリティボンド	SDGs（生物多様性）私募債 北海道の生物多様性の保全や持続可能な取組み支援に向けた私募債。「北海道の生物多様性に係る覚書」に基づき、「ほくよう生物多様性プロジェクト（仮称）」を立ち上げ、「道内の生物多様性地域戦略」の推進に貢献する事業を実施（ URL ）
27	みずほ銀行	八丈島スマートアイランド化に関わる事業者	全て	その他（自治体）	その他	八丈島スマートアイランド化の推進 八丈島の自然環境や歴史・文化の価値を活かし、サステナビリティ・トランスフォーメーションやDXによる地域社会の持続的な発展に向けたスマートアイランド化の推進を図る（ URL① , URL② ）
28	横浜銀行	神奈川県の中堅・中小企業	人材・働き方	アーリー	融資/シニアローン	〈はまぎん〉トランジション・サポートローン 公益財団法人神奈川県産業振興センターと連携協定を締結し、トランジションに向けた事業転換や自動車電動化部品事業等への参入を検討している中堅・中小企業を資金面で支援することで、地域のトランジション推進に貢献（ URL ）
29	りそな銀行	堺市の市内外のスタートアップ企業や市内の第二創業期の企業	人材・働き方	アーリー	その他	社会課題解決型プロジェクト創出業務「地域社会未来創出プロジェクト」 堺市の市内外のスタートアップ企業や市内の第二創業、大学、支援機関をつなぐことで、社会課題解決や社会的/経済的インパクトにつながるイノベーションプロジェクトの創出を目的とする（ URL ）
30	三菱UFJ銀行	観光関連のベンチャー企業	インフラ整備・都市開発	シード	ファンド投資/インパクトファンド	「ALL-JAPAN観光立国ファンド投資事業有限責任組合」を通じた地域創生プロジェクトへの支援 取引先、親密会合行が中心となり、日本の観光・地域創生を活性化することを目的に、観光を支援・高度化するベンチャー企業に投資するALL-JAPAN観光立国ファンドを組成（ URL ）
31	山梨中央銀行	山梨市あかりメンテ合同会社	環境	アーリー・ミドル	融資/シニアローン	「山梨市公共施設一括LED化事業」における「グリーンローン」の契約締結 山梨中央銀行は、山梨市が行うPFI事業「山梨市公共施設一括LED化事業」を担う目的で、山梨県内初のグリーンローンの契約を締結（ URL ）
32	千葉銀行	Abalance株式会社	環境	レイター	融資/シニアローン	Abalance 株式会社の海外現地法人向けグリーンローンの取組み 第四北越銀行と共同でスタンバイL/Cを発行し、グリーンエネルギー企業のベトナム現地法人向けのグリーンローンに取り組む。資金使途は太陽光パネル製造工場の新規取得に限定（ URL ）
33	第四北越銀行	自然エネルギーSEBE1合同会社	環境	シード	融資/プロジェクトファイナンス	「電力の地産地消型」の太陽光発電事業を対象としたプロジェクトファイナンスの組成 再生可能エネルギー発電事業向けプロジェクトファイナンスで培ってきたノウハウをもとに「電力の地産地消型」事業のファイナンススキームを構築。（ URL① , URL② ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（5/10）

事例リストとその概要

No.	資金の出し手	資金の受け手	対象事業	企業の成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
34	中国地方の5 地方金融機関	中国電力株式 会社	環境	レイター	成果連動融資 /ESGスコア連動 型融資	中国電力株式会社との「トランジション・リンク・ローン」の契約締結 5つの共同幹事行と24の参加金融機関による「トランジションリンクローン」。中国電力株式会社がトランジション戦略に沿って設定した目標の達成状況に応じて、将来の金利条件が変動（ URL ）
35	日本財団	非営利活動・ 公益事業を行 う団体	人材・働き方	すべて	助成金	2025年度「公益・福祉」 非営利活動を支援するための様々な助成プログラムを用意。災害対応など緊急性の高い社会課題に対しては個別の助成プログラムを設ける場合もある（ URL ）
36	DBJ	観光関連事業 者	インフラ整備・ 都市開発	すべて	ファンド出資/ブレン デットファイナンス	せとうち観光活性化ファンド 瀬戸内地域経済の活性化・促進を観光の側面から実現させるため、観光関連事業の事業化及び成長に必要な資金の供給主体として組成（ URL ）
37	DBJ他	中国地方の事 業者	インフラ整備・ 都市開発	シード	その他	中国地方サステナブルファイナンス協議会 中国地方におけるカーボンニュートラルに向けた取組みの一環として、地域における取組みを金融面から支援するために設立。官民関係機関が連携（ URL ）
38	DBJ他	芙蓉総合リース （株）	環境	レイター	成果連動融資/サ ステナビリティ・リン ク・ローン	芙蓉総合リース（株）に対し、シンジケーション方式DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン 「DBJ環境格付」（DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定する融資メニュー）に基づく融資（ URL ）
39	MUFG	新興国・途上 国	環境	レイター	ファンド出資/ブレン デットファイナンス	Project GAIA カナダの開発金融機関、緑の気候基金、カナダ政府の公的資本とMUFGの民間資金を集めたファンド。最低70%は気候変動適応事例へ使われることを目的に、25の新興国・途上国で活用（ URL ）
40	JICA	モンスーン風力 発電事業	環境	ミドル	融資/シニアローン	ラオス「モンスーン風力発電事業」に対する融資契約 JICAが100%資金拠出する信託基金（LEAP）の譲許的資本を開発金融機関であるADBが活用し、リスクをとることで民間行の融資可能性を高めて、再生可能エネルギーを推進（ URL ）
41	JBIC	Le Treport洋 上風力発電事 業	環境	レイター	融資/プロジェクト ファイナンス	フランス共和国Le Treport洋上風力発電事業に対するプロジェクトファイナンス Le Treportがフランス北部英仏海峡沖合15.5kmにおいて、発電容量約500MWの洋上風力発電所を建設・所有・運営するプロジェクトに対する、総額約24億ユーロの協調融資（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（6/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
42	十六銀行	地域の公益的な活動を行う法人団体	環境	その他（公益的な活動を行う法人団体）	債券/グリーンボンド/ソーシャルボンド/サステナビリティボンド	じゅうろくSDGs私募債「つながるころ」 私募債を発行する企業から受け取る手数料の一部を拠出し、地域の学校や地方公共団体、医療・福祉施設、公益的な活動を行う法人団体へ寄贈。寄贈先は企業が選べる（ URL ）
43	十六銀行	みのまちや株式会社（地域の課題解決に資する事業）	インフラ整備・都市開発	アーリー	ファンド出資/インパクトファンド	「じゅうろく・清流まちづくりファンド」への出資 観光誘客や交流人口の増加を促すなど、中心市街地のにぎわい創出を目的として、一般財団法人民間都市開発推進機構との共同出資により設立したマネジメント型まちづくりファンド（ URL ）
44	十六銀行	中小企業	人材・働き方	すべて	その他	事業承継・M&A支援 後継者不在等の問題解決のため、事業承継の相談受付やM&Aアドバイザーによるサポートを通じて、中小企業の「どのような企業として次世代に残していくか」の想いをつなぐ支援（ URL ）
45	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社	株式会社 thestory	健康・医療	アーリー	ファンド出資/ベンチャーキャピタル投資	thestoryへの投資 医療業界の慢性的な課題を解決するため、看護師のジョブマッチングアプリを福岡圏糸島で運営しているスタートアップ「thestory」に投資（ URL ）
46	笹川平和財団	東南アジアの女性と女性起業家	人材・働き方	すべて	ファンド出資/インパクトファンド	アジア女性インパクト基金 投資収益とジェンダーインパクトの創出およびジェンダーレンズ投資のエコシステムを構築することを目標に、東南アジア地域の女性と女性起業家の支援する基金（ URL ）
47	世界銀行	アフリカの対象産業	インフラ整備・都市開発	その他（地域）	直接出資/ブレンデッドファイナンス	世界銀行・AfDBによる再エネ開発事業 分散型再生可能エネルギーシステムや配電網を通じて2億5000万人に電力を配給することに取り組む世界銀行グループと5000万人の人々への電力アクセス拡大を支援するAfCBによるアフリカでの電力アクセス向上支援のパートナーシップ（ URL ）
48	ABC Fund	アフリカの対象産業	食料・農業	アーリー・ミドル	ファンド出資/ブレンデッドファイナンス	Agri-business Capital Fund 小規模農家や農業関連中小企業の成長や持続可能性のために、資金提供・技術支援・市場アクセスなど複合的に支援を行うIFADを出資者とする民間投資ファンド（ URL ）
49	肥後銀行	株式会社KSEナジー	環境	ミドル	直接出資/自己勘定投資	再生可能エネルギー事業子会社「KSEナジー」の設立 地球温暖化問題に主体的に取り組み、地域の脱炭素化を進めるため、従来の金融の枠を超えた再生可能エネルギー事業子会社を、銀行業高度化等会社として設立（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（7/10）

事例リストとその概要

No.	資金の出し手	資金の受け手	対象事業	企業の成長段階	分類/ファイナンス手法	ユースケース・概要
50	モーリシャス自然環境回復保全国際協力基金	当該プロジェクトへの関与者	環境	その他（当該プロジェクトへの関与者）	その他	環境・社会に貢献するプロジェクトへ助成 モーリシャス共和国国内における自然環境、生態系の回復および保全に関わる活動、また水産、観光、文化教育等、地域社会の発展に関わる活動分野で、住民の生活環境・経済向上に資するプロジェクトを助成（ URL ）
51	京都中央信用金庫	スタートアップ企業	全て	アーリー	その他	中信グリーン&スタートアップ預金 SDGs達成の実現に向けて、お客さまからお預け入れいただいた資金を環境課題や社会課題の解決に資する事業、スタートアップ企業への出資等に充当する定期預金（ URL ）
52	京都中央信用金庫	株式会社クラス	環境	ミドル	ファンド出資/インパクトファンド	「京信イノベーションC2号ファンド」を通じた株式会社クラスへの投資実行 個人・法人向けの家具・家電サブスクリプションサービス「CLASS」を運営する株式会社クラスに投資。循環型社会に繋がるビジネスモデルとして評価されている（ URL ）
53	京都中央信用金庫	中小企業・小規模事業者	人材・働き方	アーリー・ミドル	その他	中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み 中小企業・小規模事業者のライフステージに応じて、「創業・新規事業開拓の支援」「成長段階における支援・コンサルティング」「経営改善・事業再生など転換期における支援」「メイン取引先への支援」を産学公と連携したネットワークを通じて提供（ URL ）
54	JANPIA	ファンド	全て	すべて	ファンド出資/リミテッドパートナー投資	休眠預金等活用法に基づく出資事業の資金分配 休眠預金等の活用のため事前に達成すべき成果を明示し、成果の達成度合いを重視した「社会的インパクト評価」を実施することで、3領域のソーシャルイノベーションを促進（ URL ）
55	カーリーファンド	Curelabo株式会社	環境	アーリー	ファンド出資/インパクトファンド	うむさんラボによるCurelabo株式会社への出資 沖縄県の基幹作物であるサトウキビの搾りかすのバガスやその他の様々な植物残渣を和紙糸・生地にする特許技術と、環境にやさしい製造方法等によって、ファッション産業における環境負荷を低減するとともに、地域や繊維産業の活性化および地域循環型経済の構築を目指す企業へ出資（ URL ）
56	UntroD Capital Asia 株式会社	Alternō社	全て	アーリー・ミドル	ファンド出資/インパクトファンド	リアルテックグローバル2号ファンド 砂蓄熱技術を活用してエネルギー問題の解決を目指す、ベトナム発スタートアップのAlternō Pte. Ltd.（アルテルノ、所在地：シンガポール・ベトナム、CEO：Hai Ho、以下「Alternō社」）のプレシリーズAラウンドにおいて新規出資を実施（ URL ）
57	Zebras and Company	ゼブラ企業	インフラ整備・都市開発	ミドル	ファンド出資/インパクトファンド	ゼブラ企業への出資・経営支援 不動産開発を中心としたまちづくりを行い、人口減少時代に持続可能な地域モデルの実現を目指す。 現在は、長野県野沢温泉・御代田町、秋田県男鹿市の3つの地域で事業を展開しており、今後5年間で10地域への拡大を目指す（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（8/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
58	塩尻商工会議 所/シビック・イノ ベーション拠点 スナバ	アーリー期の地 域社会起業家	人材・働き方	アーリー・ ミドル	その他	地域型インパクト投資プログラム『DIVE』 特にアーリー期の地域社会起業家に向けて、生み出したい社会的インパクトの設計や、その実現のために必要 な事業戦略策定、リソース調達等に伴走するとともに、起業家や事業の可能性に共感する多様なパートナー とのマッチングや関係性の構築を支援していくプロジェクト（ URL① ）（ URL② ）
59	福岡商工会議 所	福岡県内の企 業や個人	全て	シード	その他	SDGs fukuoka SDGs fukuokaとは、福岡県内でSDGs（持続可能な開発目標）を掲げ、取り組みを行っている企業や団 体等をご紹介しますウェブサイト（ URL ）
60	JANPIA	General Partner	環境以外	不明	ファンド出資/リミ テッドパートナー投 資	劣後出資の試験的導入 JANPIAへの利益分配は出資した資金の1倍までとし、それ以上の収益部分が生じた場合には、資金を拠出 した民間共同出資者に分配。リターンに係る不確実性が高く、資金調達ニーズが満たされにくい社会課題領 域における事業創出と事業者の成長の促進を目指す（ URL ）
61	スパークス・ア セット・マネジメ ント	SDGsに貢献す ると判断した企 業	全て	すべて	ファンド出資/ブライ ベートエクイティ投 資	「未来創生ファンド」 未来の社会貢献につながる技術を有する企業に出資し、その育成を通じてイノベーションの加速に貢献。中核 となるテーマとして「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会」「電動化」「新素材」「カーボンニュートラル」を選定 し、IPOやM&Aを支援（ URL ）
62	グロービス・キャ ピタル・パート ナーズ	ZettaJoule, Inc.	環境	アーリー	ファンド出資/ベン チャーキャピタル投 資	ZettaJoule, Inc.へ投資 日本が誇る高温ガス炉技術によるクリーンエネルギーの供給を通じ、グローバルの次世代産業インフラをアップ デートすることを目指すスタートアップ企業への投資（ URL ）
63	信金中金	Harvest X株 式会社	環境	すべて	ファンド出資/インパ クトファンド	「しんきん脱炭素応援ファンド」による第1号案件の投資実行（HarvestX株式会社） 全国各地の信用金庫が出資・融資等で関与する脱炭素化に資する事業に投資するファンド。植物工場を用 いた自動栽培を手掛ける東京大学発スタートアップHarvestXに出資（ URL ）
64	日本政策金融 公庫	AiCAN	教育・子育て	ミドル	債券/ハイブリッド 証券	AiCANに対する1億円の新株予約権付融資 ICTとデータの利活用を取り入れることで子ども虐待対応の「スピード」と「判断の質」を向上させ、見過ごしを防 ぐ伴走型業務支援サービスを提供するAiCANに対し、1億円の新株予約権付融資を実施（ URL ）
65	山口銀行	合同会社健幸 都市 Innovation Company2	健康・医療	レイター	債券/グリーンボン ド/ソーシャルボン ド/サステナビリティ 債券	ソーシャルインパクトボンド 5つの市町（山口県宇部市、岩手県遠野市、京都府八幡市、鹿児島県指宿市、埼玉県美里町）が実 施する「ICT&SIB」の活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模 ヘルスケア事業」に対し、SIBスキームに基づく融資を実行（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（9/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
66	横浜銀行	ワタミ株式会社	インフラ整備・ 都市開発	レイター	融資/劣後ローン	ワタミ株式会社の資本性劣後ローン 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて売り上げの低迷が続いていたワタミ株式会社が、主力の居酒屋店舗3割を業態転換するため、横浜銀行から30億円を劣後ローンで調達（ URL ）
67	日本政策投資 銀行を含む大 手銀行5社	ANAホールディ ングス	インフラ整備・ 都市開発	レイター	融資/劣後ローン	ANA 劣後特約付シンジケートローンによる資金調達 新型コロナウイルス感染拡大の影響による航空需要の大幅に低迷を受けて、ANAが総額 4,000億円の劣後特約付シンジケートローンを締結。成長投資のための長期性資金を確保すると同時に、財務の健全性を維持・向上させることを目的とする（ URL ）
68	しのめ信用金 庫	製造業者	人材・働き方	レイター	融資/劣後ローン	資本性劣後ローンの活用及びリファイナンススキームの実施 永年窮境状況にあったが、金融調整を実現するため、認定支援機関や協調金融機関と連携し、総額1億5千万円の資本性劣後ローンを導入。財務体質の改善と資金繰り安定化を図った（ URL ）
69	日本政策金融 公庫	小規模事業者	人材・働き方	すべて	融資/劣後ローン	新型コロナ対策資本性劣後ローン 新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を受けている経済環境下において、関係機関の支援を受けて事業の発展・継続を図る方などを対象に、財務体質強化を図るための資金を供給する劣後ローン（ URL ）
70	福岡銀行	事業者（特に 中小企業）	人材・働き方	すべて	その他	北九州市SDGsセミナー 基調講演や取組事例発表により、事業者（特に中小企業）がSDGsに取組むメリットを伝えるセミナーを、福岡市と共に実施（ URL ）
71	静岡銀行	創業準備段 階・創業5年ま で/5年超	人材・働き方	シード、アー リー	その他	しずぎん起業家大賞 「新たなチャレンジが、地域社会の豊かな未来を創る」をテーマに革新的・独創的な事業に果敢に取り組んでいる起業家を表彰する。起業家の成長を促進し静岡県を中心とした地域経済の発展をめざす（ URL ）
72	北日本銀行	事業者、起業 家、学生	人材・働き方	シード、アー リー	その他	第5回ニュービジネスコンテスト 岩手県または宮城県内に事業拠点のある事業者や起業を検討している法人、個人を対象に、社会課題、地域課題の解決につながる新たなビジネスプラン、ビジネスモデルを表彰するコンテストを開催（ URL ）
73	京都信用金庫	地域活性化の ためにイノベ ーティブな取組 に挑戦する企業	人材・働き方	シード	ファンド出資/プ ライベートエク イティ投資	「京信イノベーションC3号ファンド」 イノベティブなビジネスモデルにより社会課題の解決を目指す企業や地域活性化につながるビジネスモデルに対して資金供給を行うことを目的に、業種やステージを問わず幅広く地域のスタートアップ企業へ投資（ URL ）
74	群馬銀行、地 域事業者	関東圏の建設 業、土木業関 連企業等	人材・働き方	レイター	ファンド出資/ベン チャーキャピタル 投資	「Gunma Green Growthファンド」 投資専門子会社であるぐんま地域共創パートナーズ株式会社は「地域事業者との共同組成ファンドを通じた地域エコシステム構築施策」として群馬銀行と佐田建設(株)をLPとし、地域建設業の持続的な発展を目指すファンドを設立（ URL ）

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

インパクトファイナンスの事例一覧（10/10）

事例リストとその概要

No.	資金の 出し手	資金の 受け手	対象事業	企業の 成長段階	分類/ ファイナンス手法	ユースケース・概要
75	SIIFIC	Proximar	食料・農業	アーリー	ファンド出資/ベンチャーキャピタル投資	陸上養殖事業者へ出資 ノルウェーの先進的な陸上養殖事業者への出資を通じ、過疎化が進む地域(静岡県小山町)における質の高い雇用の創出と海洋への環境負荷の少ない持続可能な水産業の発展を目指します。(URL)
76	空知信用金庫	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域事業者	人材・働き方	すべて	融資/ブレンデッドファイナンス	そらちしんさん全力応援ローン 空知信用金庫と日本政策金融公庫が連携して新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域事業者を支援する協調融資スキーム (URL)
77	鳥取信用金庫	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域事業者	人材・働き方	すべて	融資/ブレンデッドファイナンス	協調融資商品「強創」 鳥取信用金庫と日本政策金融公庫が連携し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を支援 (URL)
78	信金キャピタル株式会社	内藤建設株式会社	インフラ整備・都市開発	レイトー	ファンド出資/インパクトファンド	しんさん脱炭素応援ファンド 抜本的な耐用年数の向上や耐震性の向上、廃材をほとんど出さない環境にやさしい建築手法でCO2 排出量の削減、廃棄物排出量の大幅な削減が可能な建築会社を支援 (URL)
79	肥後銀行	藍の村観光株式会社	食料・農業	アーリー	融資/ポジティブ・インパクト・ファイナンス	地域観光事業者とのポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結 事業活動が地域に与えているインパクトを評価書作成スキームの活用により見える化し、地域経済と自社の成長の両立を目指した経営目標を設定 (URL)
80	肥後銀行	自然災害等の影響で経営が悪化した法人	人材・働き方	すべて	融資/劣後ローン	資本性劣後ローン（ひぎんエクイティローン） 令和2年7月豪雨災害等により影響を受け経営が悪化した事業者が、毀損した財務基盤の充実（資金調達と資本強化）を図っていけるようにすることを目的として劣後ローン (URL)
81	湖東信用金庫	東近江市内で事業を行う公益性の高い事業	インフラ整備・都市開発	すべて	融資/ブレンデッドファイナンス	制度融資「ビーナス」 公益財団法人東近江三方よし基金と連携し、東近江市内で公益性の高い事業に対して創設した融資制度。事業者は同基金による公益性評価を受け、一定基準を満たす場合に融資が実行される。また、東近江三方よし基金が一部利子補給を行う。(URL)
82	中小企業基盤整備機構を含む複数機関	SIIFICウェルネス投資事業有限責任組合（SIIFICウェルネスファンド）	健康・医療	シード・アーリー	ファンド出資/ブレンデッドファイナンス	SIIFICウェルネスファンド 創業前後や新規事業開始前後にある革新的なウェルネス領域の投資候補案件を独自に発掘し、財務的なリターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的及び環境的なインパクトを同時に生み出すことを意図した投資を行い、新しい資本主義の企業価値を創出することを目的としたファンド。(URL)

出所：各社HPに基づきデロイトにて作成

Appendix②：詳細事例サンプル

詳細事例サンプル（1/2）

【劣後出資】

JANPIAはインパクトファーストな事業に対し、一層の呼び水効果を発揮するため、民間出資者よりも経済的リターンを譲歩する劣後出資を試験的に導入しています。

業態	投資先	資金提供形態	出資総額	開始時期
財団法人	その他	ファンド出資	15億円	2025年

背景、目的

- 大きな経済的リターンよりも社会的成果の達成を重視し、民間資金が集まりにくい領域で、社会的成果と収益の両立（投資倍率1倍以上）を志向したインパクトファースト（インパクト最大化を目指す）な事業に出資
- 過年度事業では「民間資金の獲得が課題」「民間出資者が資金を拠出しやすい制度設計が必要」などの意見が挙げられた

概要

【JANPIAの出資事業の概要】

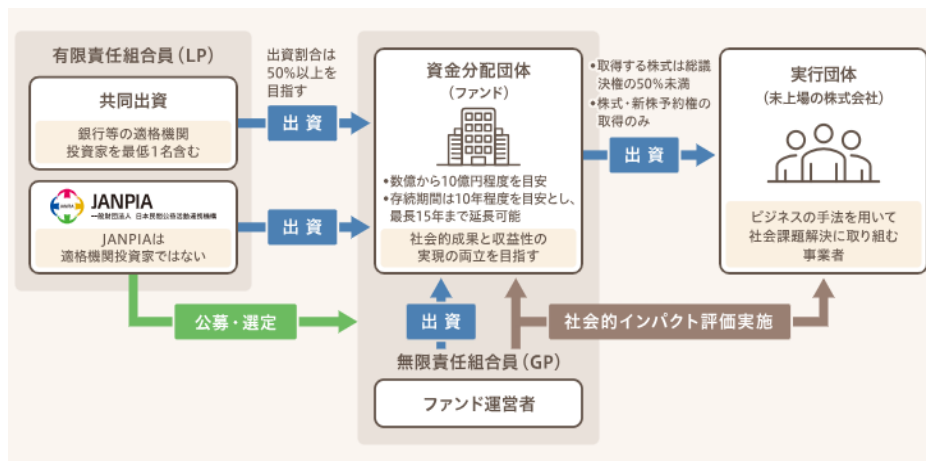
- 民間資金の呼び水効果を発揮し、資金調達環境の整備促進を図りつつ、社会課題の解決への取り組みを一層強化することを目的とする
- 休眠預金などを活用

【劣後出資の概要】

- JANPIAへの利益分配はJANPIAが出資した資金の1倍までとし、それ以上の収益部分が生じた場合には、当該ファンドに資金を拠出した民間共同出資者に分配
- 劣後出資の適用には、一定の経済的リターンを求める民間出資者を集めることが困難であることを確認
- 出資総額の目安は10億円程度とし、採択の柔軟性を確保するために予算（上限）は15億円に拡大。申請内容を踏まえて出資額を調整

【仕組み図】

- ファンド出資型



出所：資金分配団体の公募（出資）とは | 資金分配団体の公募（出資） | 休眠預金活用事業 資金分配団体・活動支援団体公募サイト

詳細事例サンプル（2/2）

【劣後出資】

JANPIAはインパクトファーストな事業に対し、一層の呼び水効果を発揮するため、民間出資者よりも経済的リターンを譲歩する劣後出資を試験的に導入しています。

業態	投資先	資金提供形態	出資総額	開始時期
財団法人	その他	ファンド出資	15億円	2025年

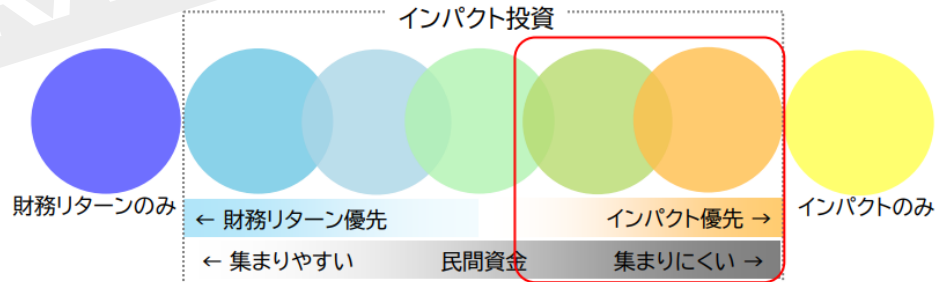
ポイント

【劣後出資適用条件】

- リターンに係る不確実性が高く、資金調達ニーズが満たされにくい社会課題領域における事業創出と事業者の成長を促進する（図赤枠）
 - 既存の金融機関・投資ファンドによるインパクト投資のテーマになっていないもの
 - 社会課題の領域が量・質の観点で深刻であるものの、もともと認知されていないなど、民間資金が不足していると認められるもの
- 上記適用条件を提示し、真に劣後出資のルールが適用が妥当である内容か否かを投資審査会にて判断
- 適用対象となる上限金額の目安として、JANPIA全体で投資倍率1倍を達成できるよう、当分の間は、各年度の出資事業の予算の過半に満たない額を劣後出資の上限（目安）とする

【対象】

- 2023年度申請事業では対象社会課題領域が広く設定されている
 - インパクト投資（共同出資者）を確保するために財務リターン優先の領域で出資先が偏る傾向があり、取り残される社会課題領域が生じる可能性



今後の展望

- 資金分配団体の出資手法の検討
 - 現在株式出資に限定しているが、貸付けや債券・匿名組合出資等にも拡大することの是非を検討
- 法人出資型の事業の利活用の可能性を深掘りし、検討結果を踏まえた制度面への反映

出所：2025年事業計画・収支予算のポイント [2025_jigyo_keikaku_syushiyosan_point.pdf](https://www.janpia.org/2025_jigyo_keikaku_syushiyosan_point.pdf)

本日のアンケート

第1回地域・実践分科会アンケート

※2025/10/23（木）回答期限



<https://forms.office.com/e/khZvMF5gPQ>